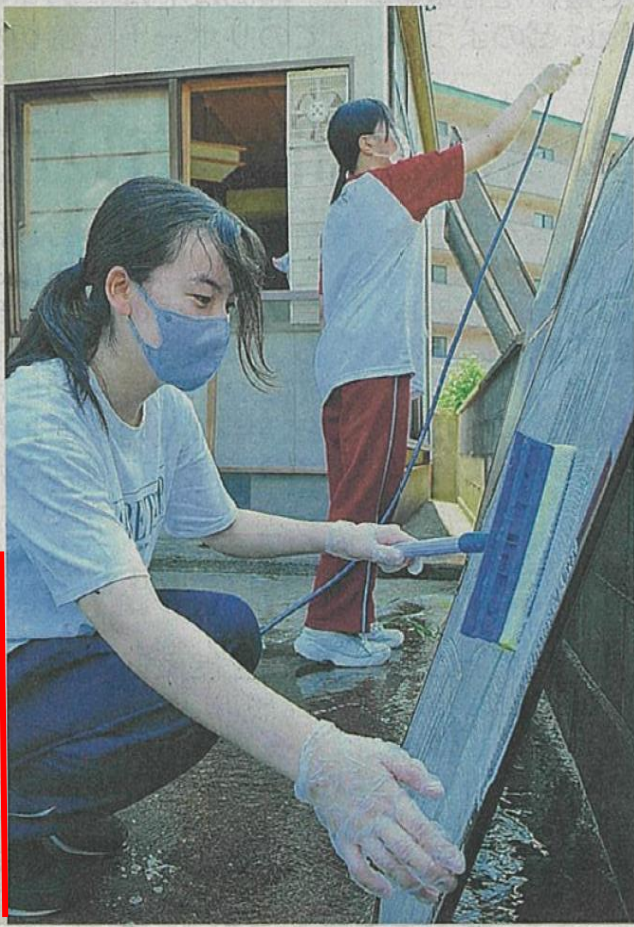


# ごっつい助かる

## 新温泉社協が ボランティア 高齢者宅で44人が汗

網戸の汚れをブラシで丁寧に落としいく参加者。7月29日、新温泉町芦屋



独居や障害などで身の回りのことをしづらい人たちを手助けしようと新温泉町社会福祉協議会は7月29日、町内で奉仕活動を行った。町内外の高校生から70代までの男女44人が参加し、民家の窓拭きや家具の移動、庭の草刈りなどに汗を流した。

「ちょっとしたボランティア」との趣旨から「チョコボラ大作戦」と銘打った奉仕活動で、今年で2回目。参加者は2〜4人のグループに分かれ、地域の民生委員を通じて依頼のあった13軒で作業を行った。

このうち、田中八代子さん(70)と、山根礼佳さん(16)、稲垣美咲さん(16)、大林青夏さん(16)の計4人も浜坂高2年の計4人

は、同町芦屋の藤本伊恵子さん(79)宅を訪問。玄関前などの窓拭きを行ったほか、網戸を取り外し、ブラシで表面の汚れを丁寧に落とししていた。

30年近く前に夫を亡くし、現在は1人暮らしという藤本さんは「前回すごく良かったので今年もお願いした。家の中は掃除するが、外はなかなかようできん。ごっつい助かる」と大喜び。田中さんは「短い時間でも皆さんと協力して役に立てれば」と汗を拭っていた。

(井上雅大)